

平成26年度「みんなの審査会」対象事業の市の方向性
(平成28年2月時点)

事業番号	1-②	事業名	都市魅力情報発信事業(さかいすと)			
所管	市長公室	局	広報	部	シティプロモーション担当	課
1. 市の方向性						
事業の方向性	拡充	<input type="checkbox"/> 強化・拡充 <input type="checkbox"/> 廃止予定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善済(一定の見直しがされた事業) <input type="checkbox"/> 検討中(平成28年度以降に見直しを進める事業)				
	現状維持					
	縮小	○				
	廃止					
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
		公金投入の方向性(人件費含む)				
2. 審査結果を踏まえた市としての取組方針						
<p>●発行頻度及び発行部数の検討 制作及び配布に係るコスト面から、年に複数回の発行・配布は難しいため、従来通り発行は年1回とし、部数も12万部を維持する。但し紙質及び頁数を落とすことで制作コストを削減する。</p> <p>●配布エリア及び配布方法の検討 全国から人が集まる首都圏を中心とした配布を継続し、近畿圏、中国・四国、九州地方など西日本への配布の強化も現状どおり継続する。但し、配本の割合については今後検討する。また、主要駅中心の配布方法についても基本的には継続しつつ、新たな配架先を再検討していく。</p> <p>●内容及び形態の検討 年1回の発行のため、タイムリーな情報発信というよりも、堺市そのものを興味深くつたえる内容構成とする。堺市の「歴史・文化」「伝統産業」などの紹介にとどまらず、「堺市の今」も積極的に紹介するものとする。形態については、紙媒体中心の現状を継続していく。</p> <p>●効果の測定 読者アンケートに工夫をこらし、回収数をあげることで、「Sakaist(さかいすと)」配布の効果を測る。</p>						
3. これまでの検討状況						
<p>下記対策を実施済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Sakaist(さかいすと)」のページ数の見直し「24P→16P」。 ・紙質の見直しによる制作コストの削減。 ・今回、20～40代の女性をターゲットにしたことに併せ、配架方法については、主に手渡しによる配架を行う。また、駅や商業施設等での配架も予定。 ・今回のコンセプトの一つに、「住んでみたい堺」を掲げており、「堺市の今」を市外から引っ越してきた市民のリアルな意見も踏まえて掲載する。 ・アンケートの回収数については、プレゼント品の数を増やし、回収率の増加を図る。 						
4. 平成28年度における見直しの内容						
<p>平成27年度において上記の対策を実行した結果、予算ベースで1,200千円(H26:9,200千円→H27:8,000千円)の削減、実績ベースでは2,505千円(H26:8,899千円→H27:6,394千円)と大きく削減することができた。掲載内容においては、読者ターゲットを20～40歳代の女性に絞ると同時に、ターゲットにより多く行きわたるような配布方法にシフトした。このことにおいて、一定の見直しの成果はあったものと考えている。</p> <p>平成28年度においては、シティプロモーションの観点からリーチについては維持拡大が本意であるので、今後は、PR冊子の発行以外の、多媒体による発信を検討・採用することにより、リーチの確保を図りながら、冊子の発行部数を見直すものとする。</p> <p>平成27年度予算 さかいすと作成・配本配送:12万部(8,000千円) ※実績6,394千円 平成28年度予算 さかいすと作成・配本配送:10万部(5,000千円)</p>						
5. 平成28年度予算への反映状況						
	平成27年度当初予算	平成28年度当初予算	増減額			
事業費	8,000千円	5,000千円	▲3,000千円			
6. 今後の取組予定						
平成28年度	発行部数の削減 12万部(平成27年度)⇒10万部(平成28年度)					
平成29年度以降	平成28年度から引き続き発行部数を10万部と想定して実施する。但し平成28年度発行号のアンケート回収状況から、発行部数等再検討を行う。					